

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構



さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 33

健・康・通・信



さくら病院のIT化



さくら病院 副院長 王寺 恒治

当院が導入を決定したオーダーリングシステムCUBEの入念な訓練と導入における綿密な前準備を行い、まずはH19年8月13日に、入院患者に限定してオーダーリングシステム(以下CUBE)を稼動することができました。

導入直後はさまざまな不具合や不都合が見つかり、その都度全職員と話し合いを何度も続け、さくら病院オリジナル仕様への改良を、細かくかつ辛抱強く行ってきました。現在も事務の松本係長の協力を得て、CUBEの改良を続けています。満を持してH20年6月13日には、ついに外来にもCUBEが稼動し、全職員のご協力により、大きなトラブルもなく外来に導入することができました。これにより、病院全体の画像以外のデータを、一括してデジタル管理することが可能となりました。

CUBEを導入して約1年3ヶ月後のH20年11月17日には、医療用の画像通信保管システムPACSを稼動させることができました。院内・院外の大部分の画像がデジタル管理・フィルムレスとなり、画像の運用と管理が格段に進歩しました。病院内のどこからでも入院経過・検査成績・治療内容・画像を時系列で自由に呼び出せ、複数の医師による画像を含めた診断が容易になり、医局カンファレンスも非常にやり易くなりました。またこれにより、5年毎に貴重なフィルムを廃棄する必要がなくなり、病院の貴重な財産である医療画像を、恒久的に保管・運用することができるようになりました。ただし残念ながら、全ての画像がフィルムレスになったのではなく、院長先生と江頭副院長先生のご支援とご支援の下で、次ぎの段階として残る心電図とエコー検査、さらに内視鏡検査における画像をDICOM仕様にして、病院の全ての画像をPACS管理にして、完全なフィルムレスに移行したいと考えています。

電子カルテの一手前までのIT化をさらに進め、最終的には今後必ず標準化される電子カルテの導入を、全職員がなんの違和感なくスムーズに受け入れ、すぐに運用できるように、万全を期したいと思います。

さくら病院のIT化に、皆さまのご協力とご支援をよろしくお願い致します。

6月24日
片江公民館

いきいき公開セミナー

薬と食の相互作用

薬局長 藤崎浩二

今回、薬と食の相互作用として「抗凝固薬のワーファリンと納豆」、「高血圧症治療薬のカルシウム拮抗薬とグレープフルーツ」、「薬睡眠導入薬、抗菌薬とお酒そして「薬（便秘薬と牛乳」の例を説明した。その中でもワーファリンと納豆の相互作用は有名でありテレビなどでもよく取り上げられる内容である。



ワーファリンは心筋梗塞や脳塞栓症などの原因となる血栓が出来るのを予防する薬である。体の中で血液が固まり血栓が出来るとはいつかの物質が関与しており、そのひとつであるビタミンKの作用を抑制するのがワーファリンである。納豆を食べると、納豆に含まれる納豆菌が体内でビタミンKを産生し、体の中のビタミンKが通常よりも増加する。すると、いつもと同じ量のワーファリンでは、納豆菌により増加したビタミンKまで抑制しきれなくなり、血栓が出来るのを十分に予防できなくなる。さらに、納豆を1回（100g、市販の1袋）食べるだけでその影響は数日間続く。その結果として、心筋梗塞や脳塞栓症などにより最悪のケースに至ることも考えられる。

最後に、薬剤師としてワーファリンを服用している方へ「ワーファリンと納豆の相性は大変悪いのです。納豆を食べると、ワーファリンの十分な効果が得られなくて心臓、肺、脳などの大事な臓器の血管が詰まって、最悪のケースに至る恐れがあります。納豆を1回（100g、市販の1袋）食べるだけで、その影響は数日間続きますので、ワーファリンの服用と納豆を食べる時間をずらしてもダメです。また、ワーファリンは納豆だけでなく、クロレハや青汁（ビタミンKを多く含むもの）の摂取もダメなので気を付けて下さい。」



新任ごあいさつ



田中 啓二 医師

5月16日より、さくら病院に勤務しています。専門は胃腸科、一般内科も診ています。胃腸科は医師に成り立てのひよこ医者だった昭和44年頃、大学紛争に明け暮れ、あけくは大学での研修も不可能となり、市中のクリニックで胃透視の手ほどきを受けた事が始まりです。以来、40年、まるで競うように早期の微小な胃がん発見に夢中となりました。そして30歳から10年間、福大病院に勤務しましたが、さくら病院のある片江の地は田圃の多い牧歌的土地柄でした。しかし今やビルや家々が林立しその変貌ぶりには驚愕しました。そう言う私自身も齢を重ね「少年老いやすく」の格言は、なるほど真実だと妙に感心する年頃を迎えました。私は、「人生は旅」という言葉が好きですが、「さくら」では、どのような旅が始まるのでしょうか。未熟者ですがよろしくお願いします。



秋満 俊介 医師

4月からお世話になっております秋満です。出身は行橋という福岡県の片田舎です。

1987年に福岡大学を卒業後、同大病院の第二内科現在の循環器内科に入局し、しばらく循環器、特に虚血性心疾患の治療に携わりました。最近は回復期リハの病院でんびり過ごしていたため、さくら病院での多忙な日々についていけず悩んでいたことが、ようやく少しかた慣れてきました。仕事は楽しくすることが第一と考えていますので、早く職員の皆さんと仲良くなれるように頑張りたいと思います。

趣味は音楽で、結構長くギターを弾いています。口ツクを中心としたバンド活動「ライブ」もたまにやっていますので見に来てください。



八坂 太親 医師

梅雨もあけ夏本番の暑さが続く今日この頃ですが、近隣の先生方におかれましては、ますますご活躍のことと思われまふ。

この度、4月より福岡大学筑紫病院消化器科より赴任致しました八坂と申します。平成18年に埼玉医科大学を卒業後、福岡大学病院にて臨床研修を行い、平成20年に福岡大学筑紫病院消化器科に入局致しました。本年度からさくら病院に当医局から派遣第1号として、赴任することになり、内科医としての日々の業務、そして王寺先生、田中先生のもと消化器科としてのトレーニングをこなしております。福岡大学筑紫病院では、消化管疾患、肝胆膵疾患、重症のUCや集中治療が必要な重症急性性肺炎まであらゆる症例を経験しました。当院でも消化管出血、イレウス等の救急治療が必要な症例、また循環器疾患、脳神経外科疾患などあらゆる症例を見させてもらっています。また近隣に福岡大学病院救命救急センターがあり、当院で治療困難な症例は緊急搬送ができ、患者様にも最善の医療を提供できるよう努力しております。今後ともさくら病院が内科救急病院としてさらなる医療向上ができるよう最善をつくしたいと思っております。



一瀬 理沙 医師

こんにちは。2009年4月からさくら病院に勤務しております。

さくら病院のように地域に密着した病院に勤務するのは初めてで、新しい発見の毎日ですが、患者さんや、院長先生、副院長先生をはじめ、スタッフのみなさんに支えられて日々楽しく勤務しております。現在、さくら病院の常勤医師のなかでは唯一の女性です。特に女性の患者さんとはつい長話を盛りに上がつてしまうこともしばしばですが、女性特有の悩みなどを気軽に話せる医師になりたいと思っております。

フットケア外来のご案内

担 当

糖尿病療養指導士：篠原 和子



足のことで
お悩みありませんか？
遠慮なくご相談ください。

平成21年5月よりフットケア外来を開設しました
足の事で悩んでいる事はありませんか？
「巻き爪で足が痛い」「水虫だが、このままでいいのだろうか」
「自分で爪を切ることができない」
などお困りの方、足の状態を見せていただけないか
温かいお湯で足を洗い、爪切りをいたします。

糖尿病で病院へ通われている方は是非一度、足をみせていただきたいです。

糖尿病療養指導士が、医師と連携し対応させていただきます。
お気軽に、外来看護師へお尋ね下さい。



ウオノメ・タコ・爪の変形・巻き爪

水虫・爪周辺の炎症

視力の弱い方・自分の爪を切れない方

完全予約制／第1・3 火曜日 14時・15時

喫煙とCOPD



COPDとは慢性閉塞性肺疾患、"Chronic obstructive pulmonary disease"の略称で気管支の炎症や肺の弾性の低下によって空気の流れが慢性的に悪くなる病気です。従来慢性気管支炎や肺気腫と診断されていましたが、現在これらを合わせてCOPDと呼んでいます。

COPDの特徴は、気管支の炎症と肺の小さな袋状に分かれた肺胞の破壊により肺の中の空気が吐き出しにくくなることです。これを気流制限といい、少し大きな呼吸をするだけで息苦しさを感じます。また、重症化すると体に十分な酸素を取り入れられなくなり低酸素血症が起こり息苦しさの原因になります。

COPDの原因のほとんどは喫煙です。ニコチン、タール、酸化炭素などの有害物質が含まれるタバコの煙や微粒子を吸い続けていると、気管支や肺胞に慢性的な炎症が起こります。また、気道の内側にはゴミやホコリを外に排出する線毛がありますが、気管支の粘膜が傷つくとその機能が衰え、慢性的な咳、痰の原因になります。さらに肺胞が破壊されて大きな袋になります。これを肺気腫と呼びます。一度壊れた肺胞はもとには戻りません。タバコを吸い続けるうちに、加齢とともに進行する呼吸機能の低下が激しくなり、咳や痰、呼吸困難に悩まされ、やがては呼吸不全や心不全を起こします。ひどくなると酸素ボンベなしでは生活がでなくなってしまう。

COPDは早期に発見し、適切な治療を受ければ肺胞の破壊の進行を抑え、呼吸困難、全身状態の悪化を軽くすることが出来ます。簡単な肺機能検査を行えばCOPDは診断できますが咳や痰、息切れがあっても多くの人がかぜやタバコの吸いすぎなどと思い込み自分がCOPDだと気づいていません。当院でも肺機能検査を実施しています。気になる方は一度検査を受けてみてはいかがでしょうか。外来医師にご相談ください。

最後にCOPDは肺の生活習慣病と呼ばれています。予防のため禁煙、適度な運動、バランスのとれた良食事を心がけましょう。



医療法人社団江頭会 さくら病院 在宅医療介護センター



ケアプランセンターさくら

要介護状態の方々に対し、居宅サービス計画を作成し適正な居宅介護支援を提供致します。

居宅介護支援サービスの内容

- ① 居宅サービス計画の作成 ② 要介護認定の申請代行 ③ 居宅介護支援に関する相談

サービス提供時間

月曜日～土曜日 8時45分～17時15分

休業日

日曜日、祭日及び8月15日、12月30日午後～1月3日

訪問介護ステーションさくら

主治医が訪問看護の必要性を認めた方に対し、利用者様の心身の特性を踏まえて、日常生活動作の維持、回復を図るとともに生活の質の確保を重視した在宅療養が出来るように支援致します。

居宅介護支援サービスの内容

- ①療養上のお世話 ②症状、障害の観察 ③清拭、洗髪などによる清潔の保持 ④褥瘡の予防、処置
⑤リハビリテーション ⑥認知症患者の看護 ⑦緩和ケア ⑧カテーテルなどの管理
⑨療養生活や介護方法などご家族への介護支援、相談 ⑩その他医師の指示による医療処置

サービス提供時間

月曜日～土曜日 8時45分～17時15分

休業日

日曜日、祭日及び8月15日、12月30日午後～1月3日

その他 24時間対応できる体制をとっています。

ヘルパーステーションさくら

利用者様がその有する能力に応じて、可能な限りその居宅において自立した生活を営む事が出来るようご支援します。

居宅介護支援サービスの内容

- ①生活援助(調理・買い物・洗濯・掃除・薬の受け取り)
②身体介護(食事・排泄・入浴の介助・清拭・洗髪・体位交換など)

サービス提供時間

年中無休 6時～22時

問い合わせ窓口

●訪問看護ステーションさくら
TEL092-864-5700

●ヘルパーステーションさくら
TEL092-801-8013

●ケアプランセンターさくら
TEL092-864-1335

お気軽に
お問い合わせ
下さい。

生活知恵袋(カビ対策)

うつつしい梅雨、蒸し暑い夏、そしてカビの繁殖しやすい季節になりました。みなさんはカビの発生条件をご存知ですか？

室内にカビの胞子があると①栄養分②酸素③温度④湿度の条件がそろえばカビが発生します。カビの繁殖を抑えるには、このような条件が揃わないようにしてやる必要があります。このうち栄養分、酸素については取り除くことはできません。人の生活する温度ではカビも成長します。ですから湿度をコントロールすることがカビの発生を抑えるのに有効といえます。そこで今回は、場所別のカビ対策について考えたいと思います。

*玄関・下駄箱

傘やコートなどで水気がたまりやすい所です。また靴はよく乾かしてからしましましょう。晴れた日は扉など開放して風を通し、カビや水気をふきとりましょう。

*畳・カーペット

畳はこまめに掃除機をかけ、時々濡れ雑巾などで拭きます。カーペットの裏は、カビの隠れ家と言われるのでカーペットの天日干し、床の清掃、通風を忘れずに。

*寝室

カビは喘息などアレルギーの原因ともなります。就寝前5分程度窓を開け換気。また布団が外に干せない日も多いですが裏面にも風を通す。エアコン等のドライ機能で乾燥させる」とよいでしょう。

*浴室

家庭内最大の水蒸気発生源でカビの楽園とも言われます。垢や石鹸カスなどはカビの栄養源となるのでよく洗い流し入浴後はしっかりと換気を行いましょう。

*押入れ・収納タンス

「すのこ」を敷く、壁との隙間をあける、などで風通しをよくしましょう。

*台所

こぼした食品はカビの栄養源となります。こまめに掃除をしましょう。布巾やまな板の消毒も忘れずに。

【換気・日頃の掃除の励行でカビをやっつけましょう！】

●開放型病院登録医療機関ご紹介●

医療法人 草野医院



院長

草野 忠良 先生

福岡市早良区野芥3丁目14-5
TEL 092-861-1812

当院は早良区に所属していますが、比較的近い場所に位置しており、昭和五十八年四月さくら病院（当時は江頭病院）開院後からお世話になることばかりでした。

昨年頃でしたか、患者さんを入院させて頂き、病棟にお見舞いに伺った時の印象は、先ず何よりもスタッフの皆さんのキビキビした動きと声出し。と同時に院内全体に漂う暖かい雰囲気でした。

そして気懸かりだった患者さんの、安心した笑顔がありました。

江頭啓介院長、芳樹副院長とは或る勉強会で殆ど毎月お会いしていて良く存じ上げていますが、両先生のお人柄が、スタッフや患者さんの気持ちにシッカリ浸透している感を深めた次第です。

更には優秀な心療内科の先生、ソーシャル ケース ワーカーの皆様の存在も「さくら病院」の懐の深さを支えていると思います。

「さくら病院」は今後益々多様化する患者さんの病態ニーズに対応出来る、無床診療所の当院にとっても、有り難い病院と思っています。

今後のご発展を心より祈念しています。

FBSテレビの取材を受けました

さくらユニットでは患者様に楽しんでもらえるように毎月イベントを行っています。

今月は茶話会を開催しました。

茶話会の4日前に急にテレビ局の取材が入ることになり、スタッフ一同どきどきでした。

茶話会ではボランティアさんのオカリナの演奏、エレクトーンの演奏に合わせてみんなで歌を唄い、差し入れのおもちを食べながら始終和やかな雰囲気緊張することもなく普段どおりの茶話会ができました。

患者様の中にはアナウンサーの方と会えて大変喜ばれ、一緒に記念撮影も行いとても楽しそうでした。

FBSテレビアナウンサーの奥田さんより「とても温かい感じがしてよかったです」とお言葉をいただきました。

最後にスタッフと奥田さんとで記念撮影をしました。

茶話会の模様は6月21日、6月28日放送のはーとふるドクターで放送されました。



七夕イベントを

行いました。

毎年恒例の七夕会を7月6日に行いました。患者様、御家族の方々、ボランティアの方々と多数の参加がありました。

メインの七夕笹飾りには、みなさまの願い事がたくさん短冊に書かれていました。

ボランティアの方によるバイオリンの演奏や、七夕、夏にちなんだ唄を全員で歌い、みなさん懐かしい思いになれたと思います。

ディールームまで来ることが出来ない患者様へは病室でバイオリンの演奏をしていただき、患者様は満面の笑みを浮かべておられました。

今年はイベントの看板を患者様に書いてもらったり、御家族からスイカの差し入れ、2内科病棟からの出張おみこしなど例年とは違った点もあり、みなさんとても盛り上がっていました。



さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付	
	室長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30
		松山 章子		



■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	八坂 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科	一瀬 内科/胃腸科		辰島 内科/心療内科	大隈 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	安部 脳神経外科	
	第5診察室			田中 内科/胃腸科	田中 内科/胃腸科		
専門外来(予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	秋満 循環器外来		石津 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

●お知らせ 9月5日(土)より土曜日の外来受付時間がAM9:00～PM12:30までとなります。(現在AM9:00～PM12:45)

病院までの交通アクセス

■地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)

■バス(西鉄バス長野町バス停下車)

西鉄バス系統番号

(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番

(西新・飯倉方面より) 95番

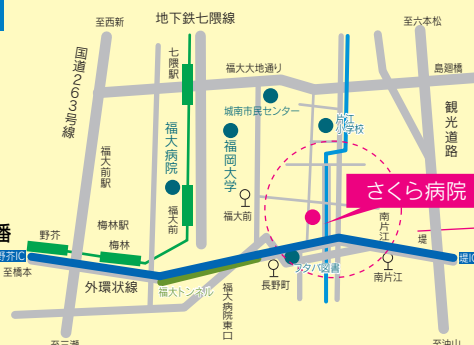
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番

(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61

64,95番

■車(病院裏手に専用駐車場があります。)

天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570

E-mail: info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

(8月1日ホームページを更新いたしました)

(事務所 TEL 092-801-7386)